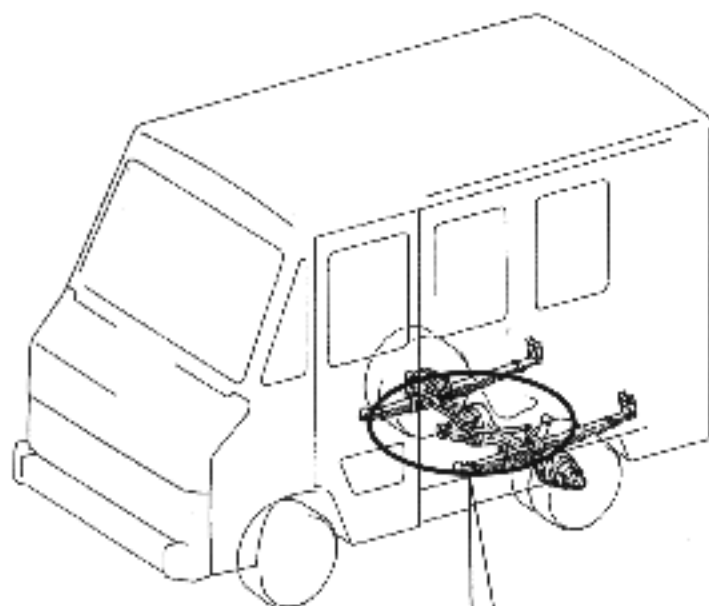


改善箇所説明図



スタビライザ

フレーム

基準不適合発生箇所

スタビライザブラケットの強度が不足しているため、山間部の屈曲路走行等を頻繁に繰り返すとブラケットに亀裂が生じるものがあり、最悪の場合、当該ブラケットが破損するとともに後輪ブレーキパイプを損傷し、制動力が低下するおそれがある。

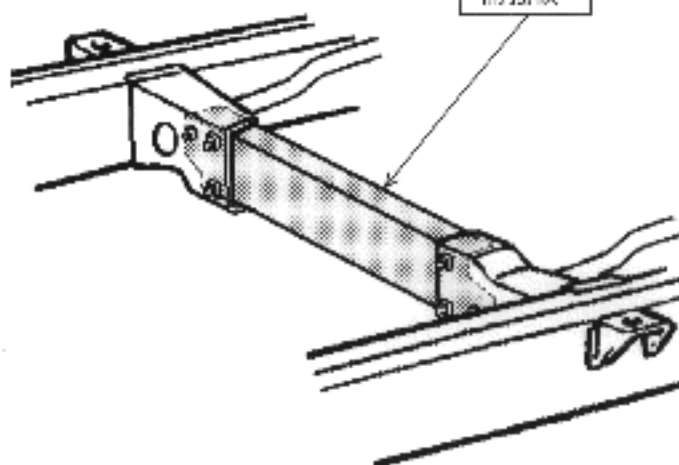
後輪用ブレーキパイプ

注： は対策部品を示す。

改善の内容

全車両、左右のブラケットを連結する補強板を取り付ける。
なお、ブラケットに亀裂が認められるものは補修溶接する。

補強板



識別：改善済車両には車台番号打刻位置の上側に黄色ペイントを塗布する。